

令和2年度 併設校 AO 入試 総合考査 問題用紙【スポーツマネジメント学部】

試験時間：60分

.....
ユースオリンピック競技大会（以下、YOG）は、15歳から18歳までの選手が参加する国際総合競技大会であり、競技プログラムはオリンピックで実施されている競技形式を基本としている。夏季大会は2010年から、冬季大会は2014年から4年ごとに開催される。

日本オリンピック委員会（JOC）情報・医・科学専門部会は YOG 出場選手における発育期のスポーツ活動状況を検証し、ジュニア選手の望ましい競技力向上の方策を明らかにすることを目的に、トップアスリート育成のための追跡調査を行っている。

これらのことを踏まえて、以下の問いに答えなさい。

問1. 資料の表1と表2は、YOG 出場選手およびリオデジャネイロ・オリンピック出場選手（以下、リオ）を対象に行った「あなたの今の競技を始めるようになった動機（内的要因）と、いきさつ（外的要因）についてお聞きします」という質問に対する回答結果をまとめたものである。YOG 出場選手およびリオ出場選手の特徴を考察しなさい。

問2. 表3、表4、表5は YOG 出場選手およびリオ出場選手を対象に「自分自身の特性」に関する調査結果から抜粋したものである。リオ出場選手の年齢は26.2歳±5.3歳であり、YOG 出場選手とは大きく異なること、対象となる人数にも差があることなどを考慮してトップアスリートの特徴を考察しなさい。

<表 1> 競技を始めた動機 (内的要因: 人)

	YOG		リオ		総計
	男性	女性	男性	女性	
楽しそう	20	26	64	68	178
うまくなれそう	2	2	8	10	22
かっこいい	12	7	23	19	61
自分に合っている	14	9	39	26	88
一流選手になれる	1	0	10	7	18
鍛えられる	3	1	5	2	11
なんとなく	11	10	27	25	73
その他	4	7	22	21	54
総計	67	62	198	178	505

<表 2> 競技を始めた動機 (外的要因: 人)

	YOG		リオ		総計
	男性	女性	男性	女性	
父親	17	14	31	27	89
母親	6	8	17	31	62
兄弟	3	4	17	21	45
親戚	2	2	5	2	11
指導者	6	5	30	19	60
学校教師	2	2	7	8	19
先輩・友人	6	10	17	19	52
タレント発掘事業	0	0	1	0	1
メディア情報	2	2	8	5	17
試合観戦	5	1	9	13	28
特になし	4	4	18	4	30
その他	5	9	17	24	55
総計	58	61	177	173	469

<表 3> 才能・素質型-努力型 (人)

		YOG		リオ		総計
		男性	女性	男性	女性	
素質・才能型	かなり	2	0	7	0	9
	やや	10	10	24	23	67
	どちらでもない	10	10	25	28	73
	やや	9	14	43	39	105
	かなり	8	5	27	30	70
努力型	かなり	8	5	27	30	70
総計		39	39	126	120	324

<表 4> 困難時に粘り強い-困難時にあきらめやすい (人)

		YOG		リオ		総計
		男性	女性	男性	女性	
困難時に粘り強い	かなり	4	3	35	42	84
	やや	18	20	45	50	133
	どちらでもない	14	9	30	21	74
	やや	2	7	10	7	26
	かなり	1	0	5	0	6
困難時にあきらめやすい	かなり	1	0	5	0	6
総計		39	39	125	120	323

<表 5> 自立している-依存する (人)

		YOG		リオ		総計
		男性	女性	男性	女性	
自立している	かなり	5	0	29	20	54
	やや	16	12	39	51	118
	どちらでもない	15	20	38	36	109
	やや	3	4	18	10	35
	かなり	0	3	1	3	7
依存する	かなり	0	3	1	3	7
総計		39	39	125	120	323

出典:「トップアスリート育成のための追跡調査」報告書〈第五報〉、
公益財団法人 日本オリンピック委員会、平成 30 年 3 月 31 日